

作物統計調査 令和5年産一番茶の摘採面積、生葉収穫量 及び荒茶生産量（主産県）

— 一番茶の荒茶生産量は2万1,000 tで、前年産に比べ7%減少 —

【調査結果】

1 摘採面積

主産県の摘採面積は2万3,800haで、前年産に比べ600ha（2%）減少した。

2 10a当たり生葉収量

主産県の10a当たり生葉収量は448kgで、作柄の良かった前年産に比べ6%下回った。

3 生葉収穫量及び荒茶生産量

主産県の生葉収穫量は10万6,600 t、荒茶生産量は2万1,000 tで、前年産に比べそれぞれ9,400 t（8%）、1,600 t（7%）減少した。

図1 一番茶の摘採面積、10a当たり生葉収量及び荒茶生産量の推移（主産県）

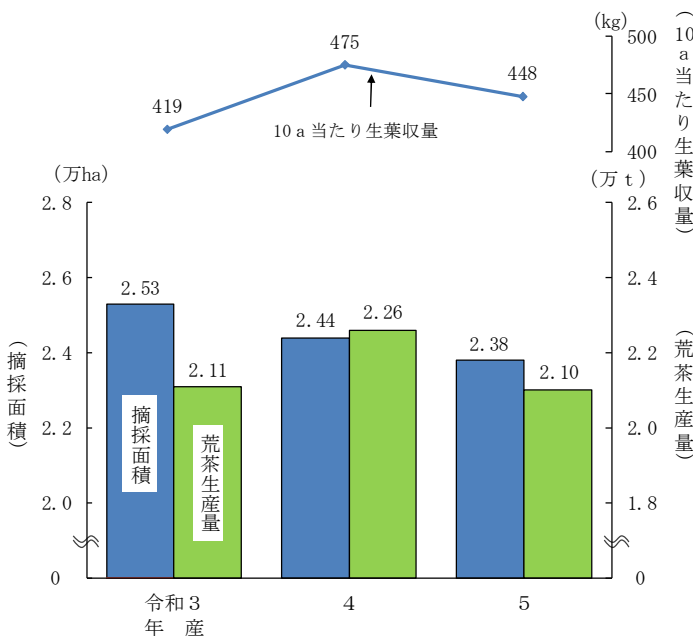
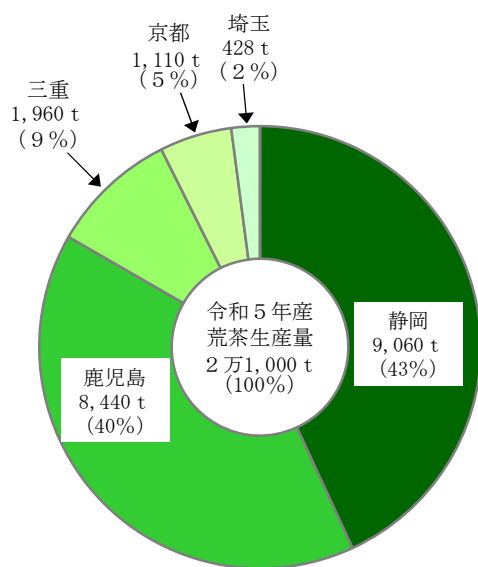


図2 令和5年産一番茶の府県別荒茶生産量及び割合（主産県）



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

- 「摘採面積」とは、茶を栽培している面積のうち、収穫を目的として茶葉の摘取りが行われた面積をいう。
- 「荒茶」とは、茶葉（生葉）を蒸熟、揉み操作、乾燥等の加工処理を行い製造したもので、仕上げ茶として再製する以前のものをいう。
- 本調査結果は主産県を対象に実施した結果であり、主産県とは直近の全国調査年（令和2年産）の一番茶期の生葉収穫量の多い上位3県（静岡県、鹿児島県及び三重県）に加えて、茶の畑作物共済事業を実施し半相殺方式を採用する2府県（埼玉県及び京都府）である。

◎ 累年データ

一番茶の摘採面積、10 a 当たり生葉収量、生葉収穫量及び荒茶生産量の推移（主産県）

区 分	摘採面積	10 a 当たり 生葉収量	生 葉 収穫量	荒 茶 生産量
	ha	kg	t	t
平成 26 年産	29,500	432	127,300	25,800
27	29,200	428	125,000	25,400
28	28,600	430	122,900	24,500
29	28,200	414	116,800	23,400
30	27,800	472	131,200	26,200
令和 元	27,100	432	117,100	23,500
2	26,200	413	108,100	21,200
3	25,300	419	106,100	21,100
4	24,400	475	116,000	22,600
5（概数）	23,800	448	106,600	21,000

資料：農林水産省統計部「作物統計」

注：平成30年産以降、主産県から奈良県が除外となったことから、平成29年産以前の累年データについても奈良県を除外して算出した数値を掲載している。

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040083255&ext=xls>

【 調査の概要 】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ・ 茶に関する生産振興に資する各種事業の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「工芸農作物（さとうきび・茶など）」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y15
- ・ 本資料の数値は概数値です。二番茶以降を含めた年間の荒茶生産量（概数）等については、「令和5年産茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量」として令和6年2月に公表予定であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（同年6月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

茶に関する情報関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞地域特産作物（蚕糸・茶・薬用作物・こんにゃく・いぐさ（量表）・その他）＞お茶のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/cha/ocha.html>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



令和5年11月1日現在で、2023年漁業センサスを実施します。
(流通加工調査については令和6年1月1日現在)